

価値創造の源泉

インフロニアパーソンの熱意と魅力

- P.107 会社概要及び株式関連情報
- P.109 編集後記・用語集
- P.110 インフロニアスピリッツ
- P.111 インフロニアパーソン



会社概要及び株式関連情報

会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	インフロニア・ホールディングス株式会社 https://www.infroneer.com/
本社所在地	東京都千代田区富士見二丁目10番2号
設立日	2021年10月1日
事業内容	インフラの企画提案、設計、建設、運営・維持管理までのあらゆる建設サービスの提供及び建設(土木、建築)、舗装及び建設機械の製造・販売等を営む傘下子会社及びグループの経営管理ならびにこれに付帯または関連する一切の事業
資本金	200億円
売上高 (2022年3月期)	6,829億円
従業員数	7,149人
決算期 (事業年度)	毎年4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所 (統合報告書発行日現在)	東京証券取引所プライム市場(証券コード:5076)
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
単元株数	100株

グループ会社一覧 (2022年3月31日現在)

前田建設工業(株)	東京都千代田区富士見二丁目10番2号	https://www.maeda.co.jp/
前田道路(株)	東京都品川区大崎一丁目11番3号	https://ssl.maedaroad.co.jp/
(株)前田製作所	長野県長野市篠ノ井御幣川1095	https://www.maesei.co.jp/
愛知道路コンセッション(株)	愛知県半田市彦洲町三丁目100番地	
(株)JM	東京都千代田区二番町三番地	
フジミ工研(株)	埼玉県比企郡滑川町月輪1576番1号	
(株)エフビーエス	東京都中央区日本橋茅場町三丁目1番11号	
その他75社		

インフロニアグループが重視するイニシアチブ

国連グローバル・コンパクト

人権・労働・環境・腐敗防止に関わる10原則を支持し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース)

気候変動を重要経営課題のひとつと認識し、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めていきます。



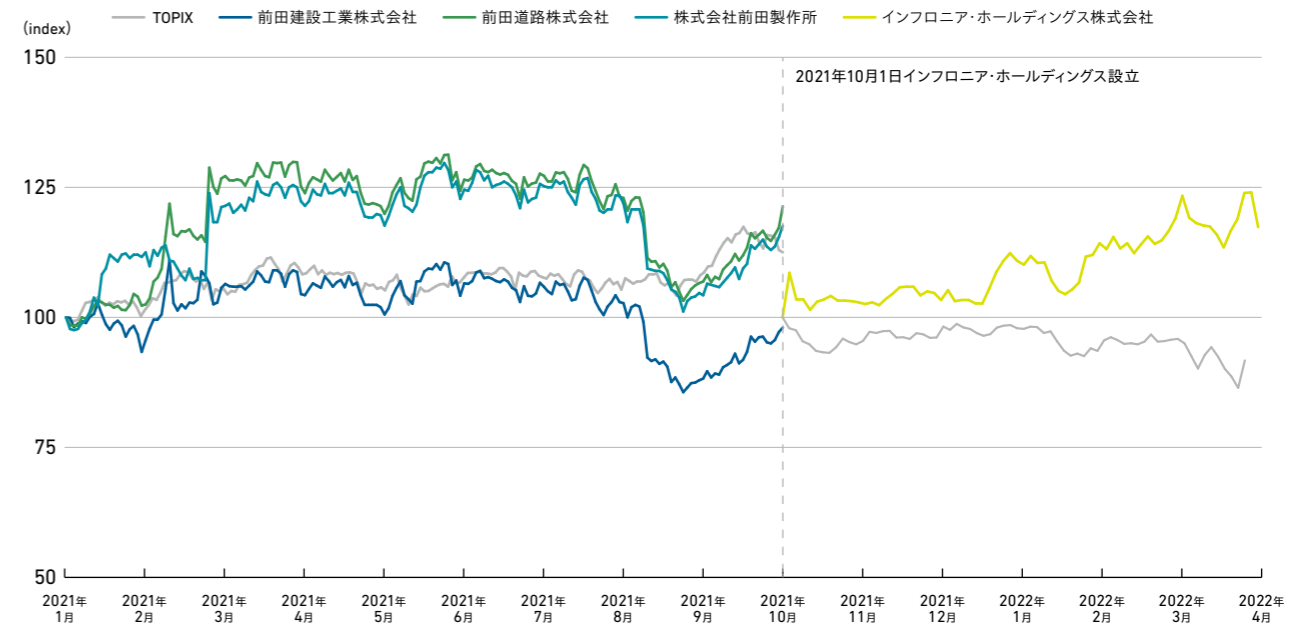
RE100

事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指します。



株式関連情報

株価の推移 (2022年3月31日現在)



1株当たり配当金・配当性向 (2022年3月期)

配当金(円)	40
配当性向(%)	42.2

大株主 (上位10名)※1

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42,037	15.34
光が丘興産株式会社	26,274	9.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	12,583	4.59
住友不動産株式会社	8,695	3.17
株式会社みずほ銀行	5,505	2.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,368	1.96
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	4,878	1.78
株式会社三井住友銀行	4,610	1.68
前田道路社員持株会	4,377	1.60
前田建設工業社員持株会	3,529	1.29

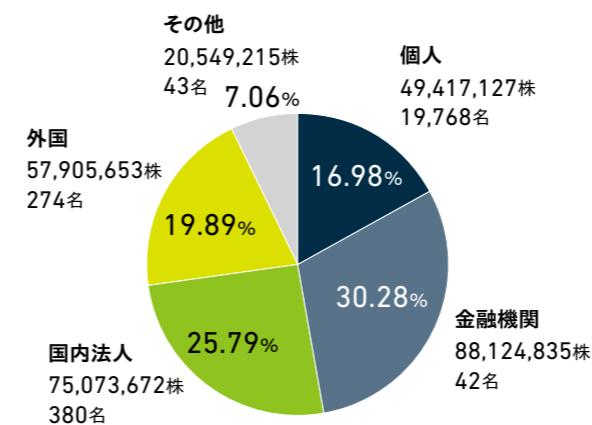
※1 持株比率は自己株式(16,992,687株)を控除して計算しています。
 ※2 当社は自己株式を16,992,687株を保有していますが、上記大株主から除いています。

株式情報 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,200,000,000株
 発行済株式総数 291,070,502株
 株主数 20,507名

※2022年5月23日付で自己株式16,225,478株を消却したことにより
 統合報告書提出日現在の発行済株式総数は274,845,024株です。

所有者別状況



IR活動

- アナリスト向け説明会(社長出席) 四半期ごと開催
- 個別IR及びスモールミーティング
開催回数114回、延企業数153社、参加人数176名
- 岐ベログ配信(社長のブログ)
<https://www.infroneer.com/jp/company/topblog.html>



初めての統合報告書作成を終えて

ホールディングス化から3ヵ月経った冬、統合報告書の作成が決定。まさに「統合」報告の任務だ。
ベクトルを合わせるべく、誰もが共通言語、共通の思いを探っていた。私たちが挑む社会課題、そもそもインフラの危機が認識されていないのではないかならば私たちの存在意義・創造価値が認識されることはない。それでも、絶対になければならない事業であり、自治体・企業・地域・社会など多様なステークホルダーの共感を得なければ、実現できない事業だ。「ともにインフラサービスの未来に挑む。」大きな共通コンセプトが見えてきた。
統合報告と並行して、行動規範の策定も進んでいた。「インフラサービスの自由」は、独りよがりの“自由”ではなく、今までの事業同様に「三方良し」がそのベースにある。そして変えるべきことと、「技術力」「誠実」「一所懸命」のように引き継ぐべきことがある。猛暑に勝る熱い議論の末、「他社/他者ごと」を「自社/自分ごと」にし、アクションチェンジにつなげるインフラパーソン共通の道しるべ「INFRONEER^」（インフロニア・キャレット）が策定された。
安全安心な日本社会で育った私たち世代が、今、その安全安心が揺らぐことを目の当たりにしている。社会情勢や生活スタイルが大きく変わる中、危機感・焦燥感を共有し、インフラサービスの必要性を、私たちが取り組む意義を、深く考える機会を得たこと自体が幸せなのだと思う。
ご協力いただいた皆様、ステークホルダーの皆様、先陣（先人）の皆様に、心より感謝申し上げます。目指す世界の実現に向け、この度の統合報告が「ともにインフラサービスの未来に挑むステークホルダーの皆様」との双方向コミュニケーションの第一歩となることを切に願います。叱咤激励をこれからもお願いいたします。（2022年9月秋晴れに遊ぶ）



用語集

本統合報告書及び当社の中長期経営計画等で使用している主要な用語の定義は以下の通りです。

対象	経営計画における定義
アベイラビリティ・ペイメント方式	公共施設等の管理者等（PFI法第2条3項）が主に利用料金の生じないインフラに関して実施させるPFI契約等（包括的民間委託契約等を含む）のうち、インフラの機能や持続性に対応した指標を設定し、民間事業者に委託等した際に支払う額等の一部又は全部が、当該指標の達成状況に応じて決まる方式。
インフラ（インフラストラクチャー）	学校、医療施設、刑務所、競技場などの建築構造物と、道路、上下水道、空港、港湾、再エネ施設などの土木構造物であり、すべての社会基盤の有形（ハード）施設を指す。 ※上記以外の無形（ソフト）インフラは、「〇〇インフラ」と区別して表記。（「情報インフラ」など）
インフラサービス	上記のインフラの運営・維持管理、インフラを通じて直接的及び間接的に提供されるサービスであり、有形（ハード）施設を指す「インフラ」に対し、「ソフト」を指す。
インフラサービスの自由	インフラ業界・市場の、既存の仕組みや規制、ルールなどを超えた自由なサービスを提供している状態。それによって結果的に、受益者にとっての「最適な選択」が成されている状態。
エンジニアリング力	請負事業における、INFRONEERの各事業会社の強みを発揮する建設技術力のこと。施工段階の技術力だけでなく、営業力、設計・提案力、技術開発力等を含む。
コンセッション	民間事業者が、PFI法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）に基づき、公共施設等運営権（公共が所有する公共施設等の運営を行い、当該施設の利用料金を自らの収入として収受する権利）を得て行うPFI事業。民間事業者が長期に安定して公共施設等の運営・維持管理を行うことが可能となり、より民間の創意工夫が発揮しやすくなる。
PPP・PFI	PPP（Public Private Partnership）公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して、行うことにより、民間の創意工夫などを活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもの。PFI（Private Finance Initiative）法に基づき、公共施設等の建設、時間、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行うこと。
連結利益への貢献額	インフロニアが設定しているインフラ運営事業の連結利益への貢献額。「インフラ運営事業により創出される建設工事（EPC）の利益」と「インフラ運営に関わるSPCの連結利益、売却益、M&A等による収益」を合わせた数値。

Corporate Identity ロゴに込めたメッセージ



INFRONEER ARROW

インフラの未来を切り拓く、
インフラサービスの自由を広げる。既成概念に挑み、
イノベーションを起こしていく、インフロニアの象徴。

既成概念に挑むイノベーションを表すライト・グリーンは「加速」を表現。穏やかで深みがあるディープ・ブルーは「持続」を表現し、過不足が無く調和の取れたサステナブルな地域社会を示しています。「挑戦」と「持続」、「革新」と「安定」。あるいは背反する2つの論理を共存させ、最適な暮らしを実現する。相反する2つのカラーの共生は、既成概念に挑戦し新たな価値創造を目指すインフロニアの意志を表す象徴です。

INFRONEER ^（インフロニア・キャレット）

INFRONEER^（インフロニア・キャレット）は、私たちインフロニアパーソンのもつ多様な強みの累乗（キャレット）による、新しい価値創造の源泉であり、大切にしたい道しるべです。

私たち、インフロニアパーソンは、インフロニアのVMVの達成に向け、「インフラの既成概念に挑む」先駆者として、常に尊重と誇りを持ち、ポジティブな姿勢で、地域・社会の視点を忘れず、挑戦し続けます。ステークホルダーの皆さまとともに、「どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。」を実現するため、自らも楽しみながら、総合インフラサービス事業、インフロニアパーソンの輪を広げていきます。

INFRONEER ^（インフロニア・キャレット）

- PIONEER
失敗してもいい。未知の領域へ、先陣をきろう。
- RESPECT
ぶつかってもいい。互いを認め、信頼を築こう。
- PRIDE
胸を張っていい。技術と知識を誇りにしよう。
- POSITIVE
無駄な経験なんてない。どんなことも成長の糧にしよう。
- FAIR
自己のためだけではない。地域と社会視点で判断しよう。

インフロンニアパーソン

3事業会社によるホールディングス化から1年。インフロンニアのVMV実現に向けて先陣を斬り、時にはぶつかりながらも、共に挑戦し、互いの信頼関係を築き、成長していく、インフロンニアパーソンの思いをお届けします。

事業会社だけでは気付かなかった領域を超えた考え方や姿勢は、これからも刺激になると思います。

財務戦略部(経済)

今後は福利厚生においてもシナジー効果が感じられる施策を検討していきたい。

総務部(経営)

多様な力を結集することの心強さを日々実感しています。

社長戦略室(土木)

自由な発想での事業により、一社員としてもキャリアの選択肢が広がると感じています!

CSR・環境部(経営)



文化の衝突と融合を実感する。だから、未来の我々はもっと進化している。

経営戦略部(土木)

We are Infroneer!
“We”をどんどん増やしたい

経営企画室(経営法学)

慣例・慣習などの既存のやり方にとらわれず、これからのベストを追求していきたい。

総務部(財務会計)

社外の人と話をすると当社への大きな期待がよく分かる。期待に沿えるよう挑戦したい。

経営監査部(経営)

社会課題の解決のための力になりたい! そして、自分も成長したい!

IT・DX推進室(経営工学)

日本にもこんな夢のある会社があったのか!と羨ましがられる存在になろう。

IT・DX推進室(土木)

頑張っている私たちの芽が世界中に咲き誇ると信じています。一緒に未来を変えよう!

CSR・環境部(建築)

インフロンニアパーソンとして、建設×道路×製作所の新たな社会価値の創造に挑戦したい。

財務戦略部(経営)



インフロンニア・キャレットについてはP.110をご覧ください。

どこの会社なんて関係ない、誰が偉いとか気にしない、自由でいいじゃん、みんな同じ仲間だもん。

経営戦略部(建築)

一日一日、少しずつではありますが、豊かなインフラ社会の実現に向けた企業としての歩みを実感しています。

法務・コンプライアンス部(法学)

それぞれの強みを「足し算」ではなく「掛け算」し、大きなシナジーを生み出したい。

総合インフラサービス戦略室(土木)

変化変化の日々。笑ってがむしゃらに挑んでいきます!

CSR・環境部(家政)

協力会社とともに、ものづくり、社会づくりの将来を創り出す

経営企画室(法学)

社長戦略室(法学)

失敗すること、ぶつかることを恐れずに、グループ全体で前進する!